
会 議 報 告

事業名	新型コロナウイルス対策本部会議（第4回）		
日時	令和2年3月18日（水）14：00～	場所	本庁2階 大会議室
出席者	【三役】（本部長）座間味秀勝、（副本部長）神里敏明、（副本部長）知念優		
	【総務課】金城満、小久保栄太郎	【観光産業課】玉城広喜	
	【民生課】新垣聡、神田沙也加、尾崎リサ	【会計課】宇野昭子	
	【教育委員会】小嶺国土	【船舶課】我喜屋元作	
	【渡嘉敷診療所】山城啓太	【学校】（渡嘉敷）川満恵昌	
	【交流の家】仲里隆司	（計15名参加）	
会議内容	<p>◆ 各部（関係者）の取組状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総務課：移送手段の確認。保健所との調整。搬送用備品納品。 2. 観光産業課：関係機関へヒアリング実施。商工会、観光協会を通して事業者支援について案内。海開きについては検討中。 3. 民生課：放送継続。新型コロナウイルス要綱の作成について検討中。 4. 船舶課：乗客を降ろした後は、ドアのぶ、トイレ、椅子の消毒を行い、荷物の積み下ろした後は、手洗いを徹底している。 船員へマニュアルを配布し、乗船前にアルコールやマスクの対応を呼びかけている。手の空いた職員を配置。 ⇒乗船30分前から、案内放送するべきではないか。 ⇒検討する。 5. 教育委員会：効力は通常のアアルコールより弱まるが、60ℓ予備を確保。春休み以降の健康観察継続について検討中。 3月31日に入学式、PTA総会について調整する予定。 6. 交流の家：3月24日まで受入停止。17団体4,000名弱のキャンセルとなった。マスク、アルコールが不足しそうなので、節約するよう指示している。キャンセルになった分の余った食糧について、どのように対応するか検討中。 7. 診療所：患者発生の状況を毎日確認していて、1日10件ほどの検査を行っているが、皆陰性反応と聞いている。 <p>◆ 車両移送について</p> <p>国土交通省に確認した所、フェリーでの患者移送は、特殊車両（救急車）であれば人を乗せたまま、車両待機も可能である。 ⇒村内に救急車が無い場合は、急患に対応出来なくなるので、他の車両を特殊車両として登録できないか確認が必要である。もしくは、県から救急車を借用出来ないか確認。（防災） ⇒南部保健所との話に挙がっていた、チャーター船の利用について対応可能かどうか確認。（総務）</p>		

◆ **使用した備品の処理について**

使用した備品は、医療廃棄物として、処理する。
⇒防具服の取扱いについて確認する。(防災)

◆ **懸念事項について**

1. 3月20日以降のイベント実施は対策を講じ、各部検討すること。
2. 放送は引き続き、感染拡大を防ぐために、不要不急の外出は自粛するよう呼びかける。
3. 疑わしい人が出た場合の対応方法について、確認する必要がある。
⇒観光客の場合、宿泊施設で待機してもらう必要があると保健所から話があったが指針等の基づく根拠がないため、事業所にも依頼出来ない状況である。(指針作成して欲しい旨、南部保健所依頼)
⇒疑いのある観光客以外のお客さんに対しても、待機してもらう必要があるのか、いつまで待機するのか確認が必要である。(観光産業課)

◆ **次回開催日程について**

令和元年度の会議は、今回で最後とする。今後は新型コロナウイルス要綱に基づき会議を実施する。